



# 大草小学校だより

第2号

令和5年4月14日 校長 山口 隆

## 手をつないで歩くことで

最初から校内遠足にする方法もあったかもしれません。現地で遊んだのは1時間ほどしかなかったかもしれません。それでもやっぱり、歩かせて良かったと考えています。

わたし自身歓迎遠足で手を引いてくれたお兄ちゃんのことは、おぼろげながら覚えています。頼もしさに満ちていました。さらに覚えているのは、自分が6年生として手を引いた1年生のことです。最後に集合したとき、落とし物の確認がありました。それが自分のペアの落とし物だったこと、それを取りに行っている姿、は40年以上経った今でもなぜか強烈に覚えています。

今日の6年生も1年生の手を引きながら、いろいろなことを話したことでしょ。1年生は本当に頼もしく思ったことでしょう。

1年生が「あてにする」、6年生が「あてにされる」という関係で往復5キロを歩いた体験は、6年生の最高学年としての意識を一層高めてくれたことと思います。お互いにとって、かけがえのない思い出として残るはずで。誰かに優しくする体験、優しくされる体験は、豊かな人間性を育てることにつながると確信しています。ぎりぎり持ってくれた天気本当に感謝です。

